

## 産婦人科における研修の目標、方略(方法)及び評価

### 1 独自の研修目標・目的

産婦人科領域におけるプライマリ・ケアの習得。

### 2 産婦人科研修の特徴

プライマリ・ケアを念頭に、産婦人科領域の緊急を要する疾患、病態ことに急性腹症について研修を行なう。

産科領域では、正常分娩の管理と緊急処置を要する病態について研修を行なう。

### 3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

産婦人科の入院患者は産科(周産部)と婦人科(婦人科病棟)に分かれており各々で診療を行っている。同時に、毎日の外来診療は新患、再来、妊婦再来を3つの柱に行っている。手術は週3日(月、水、金)行っているが、臨時緊急手術も多く、その研修もある。

研修は夜間も含めた緊急症例(分娩、急性下腹痛)にはできるだけ診療の中心となって参加してもらい体制で行なう。

上記の合間に、産科手術、婦人科手術に参加し、下記の検査等についても研修を行なう。

### 4 目標達成の評価

当院作成の評価表に研修医評価及び経験症例数を記入し、指導医の評価を受ける。

ローテーション終了時において指導医や看護部による総合的評価を受ける。

### 5 検査

産科、婦人科とも、救急疾患を含め、超音波法による情報が現在の診療に不可欠なため、この研修を行なう。その他産婦人科の一般検査を行なう。

### 6 カンファランス

産婦人科カンファランス(週一度、手術予定例、重症入院患者例の検討を中心としたミーティングを行っている。適宜文献の抄読も輪番性で行っている。)

周産期カンファランス(週一度、小児科と合同でハイリスク妊娠、ハイリスク胎児、新生児についての検討を行っている。)

病理、放射線科合同カンファランス(月に一度、合同のカンファランスを行っている。)

### 7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	外来	手術	
火	外来		カンファランス
水	外来	手術	
木	外来	総回診	カンファランス
金	外来	手術	